

共に 「学び、思いやり、鍛え」 歩む

八代中学校「校長室だより」No.15

校訓

自主 誠実 工夫

令和7年2月28日(金)

「〇〇のために・・・」という気持ち

3学期になって、2年生の生徒会役員が中心となって正門と裏門で、挨拶活動を行っています。また、挨拶を盛り上げようと、明るい挨拶を呼び掛ける校内放送を行ったりもしました。これらは、生徒会役員のみなさんの「八中生が、明るく元気な学校生活を送ることができるようになるために・・・」という気持ちが、毎日の挨拶活動の原動力になっているのだと思います。そして、役員の方々の皆さんの成長を感じました。

2月のある日の1年生の技術の時間。木材加工の単元で、本箱やマガジンラックなど10種類の中から自分の作りたいものを選んで、製作していました。ある男子生徒は、大変熱心に、集中し、一生懸命に、釘打ちをしていました。その姿を見て、私は思わず、「頑張っているね。すごいね。」と声を掛けました。すると、彼は、「でき上がったら、お母さんにプレゼントするんです。」そう答えました。「お母さんが喜んでくれるために、いい作品を作りたい。お母さんのために・・・」という強い気持ちが、彼の熱心な姿、一生懸命な姿に表れたのでしょうか。そして、彼の成長を感じました。

2月の風の強い寒い日の朝。登校中の出来事です。資源ごみとして道路わきに出されていたペットボトルが、強風にあおられ、辺り一面に散乱していました。そこを通りかかった3年生の男子生徒が、散らばったペットボトルを集めていたそうです。この男子生徒は、「ここを通る人たちが迷惑をするだろうから、ここを通るみんなのために・・・」と考え、行動したのだと思います。誰かに言われた訳ではないのに、自主的にこのような行動ができるようになった彼の成長を感じると同時に、大変誇りに思いました。

人は、「〇〇のために・・・」という誰かのために全力で一生懸命取り組むとき、大きく成長するのだと思います。「〇〇のために・・・」という気持ちは、周りの誰かから与えられるものではなく、自分の心の中から湧き出てくるものです。「〇〇のために・・・」という気持ちで行動すると、大きく成長した自分に会えると思います。

「僕らは忘れない」

2月21日(金)5時間目、1年1組は、三好あかね先生の音楽でした。音楽室に近づいた時、懐かしく、思い出深いメロディが、耳に飛び込んできました。八代中学校のオリジナルソング「僕らは忘れない」でした。

この歌は、平成7年度八代中学校2年生だった上田梨代さんが作詞、3年生だった池田尚美さんが作曲した八代中学校のオリジナルソングです。この年の八代中学校文化祭で全校合唱として地域の方々にも披露し、大きな感動を与えました。また、卒業式の前日にも、3年生からもう一度この曲を歌いたいという申し出があり、全校生徒が涙で詰まりながら歌ったことも思い出しました。

今年、三好あかね先生から、「八代中学校にはオリジナルソングが二つある。『僕らは忘れない』と『あの場所で』で、音楽の時間に歌っている。」ということを知り、何年もの間、歌い継がれていることに、大変感激しました。3月25日の閉校記念式典でも歌うようにしています。(文責 河野 靖)

僕らは忘れない

作詞 上田梨代(平成8年度卒業生)
作曲 池田尚美(平成7年度卒業生)

1 いつも見ていた あの夕陽
なつかしくなって 訪れた
あおい海 すんだ空
かわらない景色が そこにある

僕らは 忘れない
あの日 そくにいたことを
僕らは 忘れない
温かだった あの時間(とき)を

2 いつも通った あの小道
なつかしくなって 歩いてた
夏の終わり 秋のかおり
かわらない笑顔が そこにある

僕らは 忘れない
あの日 語ったあの夢を
僕らは 忘れない
輝いていた あの時間(とき)を

僕らは 忘れない
あの日 そくにいたことを
僕らは 忘れない
温かだった あの時間(とき)を